

スキー競技方法及び主要注意事項

1 競技開始順序について

ジュニア小1～3→小4～6→中学生→高校生

女子D→C→B→A 男子E→D→C→B→A の順とする。

(各組内年齢の高い者からとする。ジュニアは年齢の低い者からとする)

2 各競技について

・途中棄権する場合は、近くの旗門員に告げ、ゴールは切らないこと。

・レース中に妨害されたり前走者に追いついたりした場合の再レース申告は、その時点で近くの旗門員に告げ、ゴールは切らずに競技役員に申告すること。

(注) ゴールを切ると、レース成立となり再レースはできません。

①回転競技

・完走者はすべて2本目も出場する。(セカンドカットはしません)

・スイッチバックをしても良いが、他の選手の妨害をした場合は失格とする。

・スイッチバックした場合は、不通過だったポールを回ること。

・板が外れた場合に、他の人から手助けをもらった場合は失格とする。

・フリップは1.5とする。

・ジュニアは1本目失格の場合でも練習として2本目の滑走を認める。

クラスの最後に出走する。

②大回転競技

・レース中にストップした場合は失格とする。スイッチバックは認めません。

3 インспекションについて

・インспекション中に、コース内滑走練習を行った者は失格とする。

・必ず、ビブは見えるように着用して、サイドスリップで行うこと。

4 ビブの配布について

・3月8日(土)の受け付け時に配布する。その後は、スタートで受け取ってください。

5 本大会に定めたもの以外は、(公財)全日本スキー連盟競技規則最新版による。

6 天候等により、予定など変更することがある。